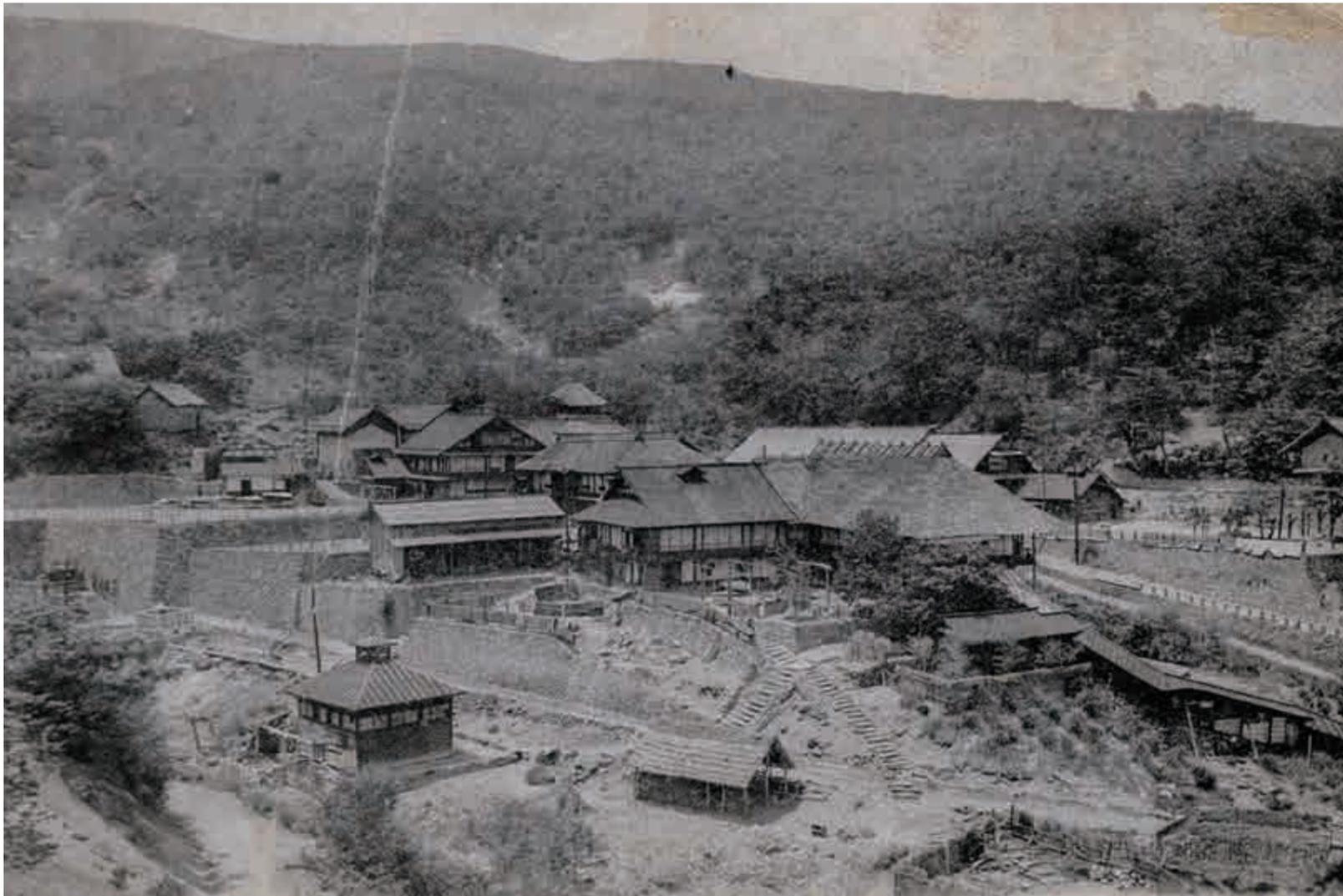


# 高湯温泉

## 吾妻の自然に抱かれ歴史を紡いできた温泉郷

National  
Parks  
of Japan



高湯温泉は吾妻山の中腹に位置する歴史ある温泉地で、開湯は約400年前と伝えられています。泉質は硫黄泉で、「美肌の湯」として古くから湯治客に親しまれてきました。

画像(上)は、昭和初期の温泉街(現在の温泉街中心地を谷側から望む/中央の建屋が現在の共同浴場あったか湯)です。湯治宿や小さな旅館が並び、季節ごとに移ろう山の景色と、湯煙に包まれた街並みは、現代に比べてより素朴で落ち着いた趣が感じられます。

温泉街の背後には吾妻連峰が連なり、街を貫く磐梯吾妻スカイラインは、吾妻山の玄関口「浄土平」へとつながっています。このエリアは磐梯朝日国立公園の一部であり、整備された道路や施設などとともに、昔ながらの湯治場の風情が大切に残された高湯温泉の街並みがあり、歴史ある温泉文化と豊かな自然の両方を楽しむことができます。

出典: 高湯温泉観光協会 [画像(上)] 撮影年代 = 1940年代



特別保護地区 特別地域 普通地域 JR 私鉄 高速道路 観光道路